

地方に移住者を増やし人口減少を抑える方法を考える 22211097 大日方慎悟

・研究の目的

東京一極集中や少子高齢化問題により地方の人口や活動が衰退していくと考えた。これらを補うための方法として移住者の増加と考えこの研究を選んだ。安曇野市が行っている移住者増加政策を調べ実態を知る。また、実際に移住をした方の話を聞きその場所の魅力・課題を知るとともに新規移住者を増やす糸口を得る。

・調査対象

長野県安曇野市

長野県安曇野市は私の出身であり移住者が増えてほしいと思い選んだ。都市部からのアクセスも良く安曇野市には移住者が求める自然や不便さがある。近隣の松本市にはショッピングモールや映画館など都市部分もあり移住がしやすい場所ではないかと考える。

・移住者を増やす取り組み

安曇野市では売中古住宅の購入や賃貸などを登録された登録業者を介して購入することができる空き家バンク制度がある。購入した住宅は市の改修補助対象になるなど補助が手厚く市も空き家問題を解決できる相互利益の関係がある。一泊二日の移住体験会があり市内をバスで巡り移住者の住宅や気候を実際に感じてもらう。お試し住宅の貸し出しを行い滞在中に住居を決めてもらう取り組みも行われている。

まとめ

自然豊かで都市からもアクセスのしやすい安曇野市は、転入超過であることが分かった。移住者は近隣の松本市で働き安曇野市で生活をするライフスタイルである。